

EXPO 2025 大阪・関西万博 北欧館にて
ウェルビーイングな未来に向けてのディスカッションイベント
“Celebration of Sauna Life”
-日本とフィンランドをつなぐサウナ物語-を開催！

Visit Finland (フィンランド政府観光局)は、2025年10月5日(日)に、EXPO 2025 大阪・関西万博 北欧館にてウェルビーイングな未来に向けて“Celebration of Sauna Life”と題したディスカッションイベントを開催いたします。コロナ後の混沌とした時代に日本でも最近よく耳にする「ウェルビーイング」とは具体的に何を意味するものなのかを各分野の専門家を交えて複数のトークセッションを通じて明らかにしていきます。

幸福度ランキングで8年連続世界一位に選ばれているフィンランドでは、「自分らしさ」が最も大切にされていることの一つであり、彼らの人生観に欠かせないものがサウナです。フィンランドのサウナカルチャーでは「寛容さ」や「サウナの中ではみな平等」という価値観が大切にされています。2018年、フィンランド政府観光局が世界初のサウナに特化したキャンペーンを日本で展開したことで、日本はアメリカなどを中心に世界的ブームになりつつあるサウナの発信地となりました。そのように大きな流行を見せているサウナを共通点として、日本とフィンランドそれぞれのライフスタイルを比較することで、この先の未来に必要なウェルビーイングとは何かに光を当てていきます。

セッション①: サウナ&コミュニティー

基調講演: 日本とフィンランドの知られざる外交の幕開け

ゲスト: 代田美里氏、ラウラ・コピロウ氏、菅原理之氏

モデレーター: 沼田晃一氏

フィンランドのサウナカルチャーをご紹介し、日本にはじめてフィンランド式サウナをもたらした大黒屋光太夫と2人のラクスマンによる日本とフィンランドの友好関係、そしてそこから続く日本でのサウナコミュニティーの広がりについてご紹介していきます。



パネルディスカッション: 地方に広がるサウナカルチャー

ゲスト: 古田秘馬氏、高橋ケン氏

モデレーター: アンティ・クナナス氏

今や地方創生の分野において語られることが多くなったサウナ。サウナを通したまちづくりや、フィンランドサウナがもたらすマインドがどのように日本の地域に落とし込まれているのか。地域におけるサウナカルチャーとコミュニティー形成について語ります。



鑑賞プログラム: 伝統文化「能」

演目:

舞囃子「高砂」

舞囃子「羽衣」

出演:

シテ 塩津圭介

笛 赤井要佑

小鼓 林大和

大鼓 山本寿弥

太鼓 中田一葉

パネルディスカッション: Finland and Japan: Rethinking values and identity "Opposites That Mirror Each Other"

ゲスト: 石山アンジュ氏、サトゥ・アールマン氏

モデレーター: アンティ・クナス氏

「自分らしさ」を大切にしているフィンランドのマインドについて、AIを駆使したコーチングプログラムを開発したPUROSI共同代表とシェアリングエコノミー共同代表に、自分と向き合うこと、信頼関係を築き、マインドをシェアしていく重要性について語っていただきます。



対談: 能とサウナ

ゲスト: 天野春果氏、塩津圭介氏

フィンランドではサウナに守神トントウが宿ると信じられています。その昔、サウナ室でお産を行ったり、死後遺体を清めたりする神聖な場所とされてきました。そして、日本の能の中で多く登場するのが亡霊です。亡霊は、今を生きる私達に人間の情念や生老病死をまざまざと描き、この世の中で本当に大切なものは何なのか、生まれてきて死ぬということは、語りかけてきます。この対談では能とサウナの共通点から、自分の心と向き合い、自分の心に問いかける時間を持つことについて掘り下げていきます。



セッション③:サウナ&ウェルビーイング

パネルディスカッション:ウェルビーイングな未来を考えよう

ゲスト：森實敏彦氏、川田直樹氏、粟生万琴氏、能村祐己氏

モデレーター：岩田真吾氏

サウナは友達や家族、会社の同僚やクライアントなど、様々な人とのコミュニケーションを育む場所としても広く利用されています。サウナで裸の付き合いをすることは、信頼関係を築くための一歩となります。日々、息つく暇もなく溢れ出る過剰な情報の中で、目に見えるものにとらわれ、利便性を追い求める現代社会において、サウナがどのように人と社会に寄与するのかサウナ推進企業の立場から紐解いていきます。



クロージングセッション

パネルディスカッション:日本とフィンランドをリアルにつなぐ〜“はこぶ”から“つなぐ”へ〜

ゲスト：北川昌彦氏、伊藤翔次郎氏

モデレーター：沼田晃一氏

JALとフィンエアはアライアンスから一步踏み込んで、ジョイントビジネス（共同事業）を展開しています。この会の最後のセッションとして、フィンランドとサウナを通じた航空会社同士のパートナーシップとその取組についてご紹介いたします。人々がリアルに出会い、文化、カルチャー、マインドが交わる...“つなぐ力”を信じる航空会社は移動手段という枠を超えて何ができるのか、語り合います。



全体スケジュール

12:50 基調講演: 日本とフィンランドの知られざる外交の幕開け

13:30 パネルディスカッション: 地方に広がるサウナカルチャー

14:10 休憩カハピタウコ、意見交換会セッション

14:30 伝統文化「能」鑑賞

15:10 Finland and Japan: Rethinking values and identity "Opposites That Mirror Each Other"

15:50 対談「能とサウナ」

16:20 休憩カハピタウコ、意見交換会セッション

16:30 パネルディスカッション: ウェルビーイングな未来を考えよう

17:15 クロージング 日本とフィンランドをリアルにつなぐ〜“はこぶ”から“つなぐ”へ〜

17:50 終了

※プログラム・スケジュールは変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

イベント概要

イベント名：“Celebration of Sauna Life”

日時：2025年10月5日（日）12:50～18:00

場所：EXPO 2025 大阪・関西万博 内 北欧館

参加方法：

- ・ オフライン：すでに定員に達したため受付終了
- ・ オンライン：事前登録制（先着順500名まで）
 - ・ 事前登録制用フォーム URL：

https://www.lyyti.in/Live_Stream_Celebration_of_Sauna_Life_at_Nordic_PavilionEXPO2025_3702

※事前登録フォームよりお申し込み後、ご登録のメールアドレスに当日のZOOMリンクが届きます。

※一部プログラムはオンラインで配信されない可能性がありますので、予めご了承ください。

※事前登録フォームは英語となりますが、日本語でご入力いただけます。

※配信の言語を日本語と英語よりご選択いただけます。

入場料：無料

主催：Visit Finland（フィンランド政府観光局）

後援：

フィンランド大使館商務部

公益財団法人日本サウナ・スパ協会

豊後大野市

特別協力：

フィンエアー

日本航空株式会社

協力：

株式会社日本旅行

株式会社SUNDAY FUNDAY

賛同：

十勝サウナ協議会

おんせん県いいサウナ研究所

代田美里

鈴鹿市文化スポーツ部文化財課 学芸員

茨城県出身／平成14年から現職。大黒屋光太夫記念館、伊勢型紙資料館などの展示や古文書、仏像などの文化財調査を担当。近年は、古い写真のデジタル化などにも取り組む。大黒屋光太夫記念館開館当初から展示や資料調査を担当し、光太夫の業績と魅力を伝えるために奮闘中。

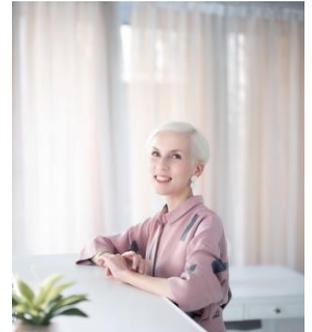


Laura Kopilow (ラウラ・コピロウ)

フィンランド大使館商務部 商務官

2度の日本留学（函館の高校、早稲田大学）を経て、日本政府奨学金留学生として北海道大学大学院法学研究科修士課程を修了。

その後、日本の大手IT企業に入社し、2018年からフィンランド大使館商務部にてフィンランドの建築、デザイン、サウナ、食品などの企業を日本へ紹介しなはら、サウナ文化をはじめとするフィンランドのライフスタイル発信に尽力している。



メディア出演も多数あり、テレビ東京『Youは何しに日本へ?』、日本テレビ『世界一受けたい授業』、テレビ朝日『サタデーステーション』などに出演。

2025年に著書『フィンランド発 幸せが見つかるライフスタイル』を出版。

菅原理之

株式会社SUNDAY FUNDAY代表/フィンランドサウナアンバサダー

フィンランドでアウトドアサウナに魅せられ、フィンランド政府観光局公認のフィンランドサウナアンバサダーとして日本にサウナの魅力を広めている。音楽フェスを中心にサウナ関連イベントを多数開催。サウナを活用した地方創生プロジェクトにも関わり、日本のアウトドアサウナシーンを牽引している。



沼田晃一

フィンランド大使館商務部上席商務官

北海道函館市出身。2002年からカナダ観光局日本支局初代マーケティングマネージャーを勤め、その後、オーストラリアのカintasグループにて日本初LCC事業の立ち上げに携わる。

2018年3月より現職。2021年にヨーロッパ観光委員会 日本支部の委員長に就任。日本各地で地方創生事業のアドバイザーを務める。フィンランドサウナキャンペーンの仕掛け人。



古田秘馬

プロジェクトデザイナー、株式会社umari代表

東京都生まれ。慶應義塾大学中退。東京・丸の内「丸の内朝大学」などの数多くの地域プロデュース・企業ブランディングなどを手がける。農業実験レストラン「六本木農園」や和食を世界に繋げる「Peace Kitchenプロジェクト」、讃岐うどん文化を伝える宿「UDON HOUSE」など都市と地域、日本と海外を繋ぐ仕組みづくりを行う。現在は地域や社会的変革の起業に投資をしたり、レストランバスなどを手掛ける高速バスWILLER株式会社やクラウドファンディングサービスCAMPFIRE、再生エネルギーの自然電力株式会社・顧問、医療法人の理事などを兼任。



高橋ケン

アウトドアサウナ協議会「おんせん県いいサウナ研究所」所長／フィンランドサウナアンバサダー

茨城県出身。2017年4月に大分県豊後大野市へ移住しLAMP豊後大野をオープン。2019年から豊後大野の自然を活かした「サウナのまち」プロジェクトを構想し、2020年からサウナーのためのサウナの祭典「サウナ万博」を毎年開催している。2021年7月には行政が日本で初めて「サウナのまち」を宣言。以来、サウナにおけるまちのブランディングを行い、Mr.サンデーなど全国放送で紹介される。サウナでの来場者がゼロだったところから延べ3万人以上が来訪するようになった。現在もアウトドアサウナを通して「豊後大野フィンランド化計画」を進めている。



Antti Kunnas (アンティ・クunnas)

在日フィンランド商工会議所 専務理事

フィンランド出身。大学在学中に大阪へ1年間留学し、その後関西大学大学院で修士課程を修了。卒業後はユニクロに入社し、アメリカのスケッチャーズ社やスイスのタグ・ホイヤー社でも店舗マネジメントの実績を積む。2019年に独立し、AIKグローバルコンサルティングを創業。以来、産学官民を横断する多様な国際プロジェクトに携わっている。

現在はAIKグローバルコンサルティングCEO、在日フィンランド商工会議所専務理事、Demola Global日本ゼネラルマネージャーを務め、その他に複数社の顧問としても活動。日本と世界をつなぐプロジェクトに強い関心を持つ。テレビドラマ『サ道2021』のミロ役出演。



茨城県在住。妻と0歳の子どもと暮らす育パパ。

石山アンジュ

一般社団法人シェアリングエコノミー協会 代表理事

「シェア(共有)」の概念に親しみながら育つ。シェアリングエコノミーを通じた新しいライフスタイルを提案する活動を行うほか、政府と民間の架け橋として規制緩和や政策推進にも従事。2018年10月ミレニアル世代のシンクタンク一般社団法人Public Meets Innovationを設立。新しい家族の形「拡張家族」を掲げるコミュニティ拡張家族Cift家族代表。USEN-NEXT HOLDINGS 社外取締役。ほかに「羽鳥慎一モーニングショー」、「真相報道バンキシャ!」「シューイチ!」等にコメンテーターとして定期出演。2012年国際基督教大学(ICU)卒。新卒で(株)リクルート入社、その後(株)クラウドワークス経営企画室を経て現職。デジタル庁シェアリングエコノミー伝道師。著書に「シェアライフ-新しい社会の新しい生き方-」、新著に「多拠点ライフ-分散する生き方-」Forbes JAPAN「日本のルールメイカー30人」に選出。特技は大人数料理を作ること。



Satu Ahlman (サトゥ・アールマン)

Coach & Co-Founder, Purosi

サトゥ・アールマンは高パフォーマンスの人材やチームを対象にコーチングを提供するPUROSIの共同創業者で、企業人材に加え数名のトップアスリートもクライアントとして抱えています。PUROSIは業界リーダーを目指す企業向けのAIを活用した人材開発ソリューションです。PUROSIの革新的なコーチング・プログラムは従業員の幸福と可能性、ウェルビーイングの優先によって組織のイノベーション、成功と生産性を支えます。



塩津圭介

能楽師

能楽シテ方喜多流職分、塩津哲生の長男として東京に生まれる。祖父故塩津清人、父塩津哲生はともに熊本市出身。三歳で初舞台を踏み、現在、喜多流能楽師として活動中。1992年に初シテ(初主役)を勤め、2011年に若手の登竜門と言われる「猩々乱(しょうじょうみだれ)」を披く。2015年に能「道成寺」を勤め、独立。2018年塩津能の會にて、親子で「石橋 連獅子」を勤め、赤獅子を披く。(公社)能楽協会東京支部会員。(公財)十四世六平太記念財団評議員。(一社)塩津能の會理事(有)哲門会 代表取締役 父塩津哲生師に師事。東京学芸大学 教育学部卒業。APU立命館アジア太平洋大学非常勤講師。2004年より若者の、若者による、若者のための能の催し、「若者能」を企画、出演。東京、福岡にて塩津能の會を企画、出演。札幌、帯広、東京、福岡、熊本、北九州、大分にて、稽古場を開催、毎月稽古に通う。



天野春果

株式会社 ツーウィルスポーツ 代表取締役

都立駒場高校から米ワシントン州立大学に進み、96年に卒業。同年のアトランタ五輪でボランティアを務めて帰国し、97年に現川崎フロンターレに入社。ホームタウン活動に携わる。2002年サッカー・ワールドカップ日韓大会の組織委員会出向を経て、川崎プロモーション部長として数々の斬新な企画を実行。17~20年は東京オリンピック・パラリンピックの組織委員会に移った後、川崎に戻って23年に退社。24年2月にツーウィルスポーツ(TWS)を設立し、代表に就任。同月から南葛SCのプロモーション部長。



森實敏彦

株式会社タマディック 代表取締役社長

2000年に株式会社タマディック入社。取締役を経て2002年に代表取締役社長に就任。2021年に完成した名古屋の新社屋は、木造建築を得意とする世界的な建築家、坂茂氏が設計を手掛け、最上階にフィンランド式サウナを導入。元駐日フィンランド大使公認のサウナ「LUOVA SAUNA」にて、社員のウェルビーイング改善と社内外のコミュニケーション活性化に情熱を注ぐ。



川田直樹

JAPAN SAUNA-BU ALLIANCE共同代表/コクヨサウナ部長/一級建築士 フィンランドサウナアンバサダー

コクヨで働く傍ら2016年に社内サウナ部を設立し、後に「JAPAN SAUNA-BU ALLIANCE」を共同設立。週8回サウナに通いながら、「TheHive」「あかざる」などの施設をプロデュース。著書『シン・サウナ』では、サウナを通じた新しい働き方・生き方を提案。



粟生万琴

株式会社LEO代表取締役 CEO

三重県伊勢市出身。大学卒業後、IT企業に勤務を経てパソナテックに転職し、同社初の女性執行役員や取締役を務めた。2016年にエクサインテリジェンス（現エクサイザーズ）を創業、COOとして参画。19年から起業家支援施設「なごのキャンパス」（名古屋市中区）の企画運営プロデューサー。20年から株式会社LEO第二創業。



能村祐己

太陽工業株式会社 代表取締役社長

学生時代にITと経営に興味をもち起業。その後、家業の太陽工業株式会社にて、上海万博等の長期かつ納期が迫られる工事現場にいくつも従事する。傍ら、情報処理系の国家資格を取得。現在、太陽工業株式会社 代表取締役社長を務める。大阪・関西万博においては万博サウナ「太陽のつぼみ」にシルバーパートナーとして協賛。



岩田真吾

三星グループ 代表

1887年創業の素材メーカー「三星グループ」の五代目アトツギ。慶應義塾大学法学部を卒業後、三菱商事、Boston Consulting Groupを経て2010年より現職。欧州展開や自社ブランド立ち上げ、ウール再生循環プロジェクトReBirth WOOL、産業観光イベント「ひつじサミット尾州」、アトツギ×スタートアップ共創基地TAKIBI & Co.（タキビコ）等を進める。2019年ジャパン・テキスタイル・コンテスト グランプリ、2022年Forbes JAPAN起業家ランキング特別賞、2025年同CULTURE-PRENEURS 30を受賞。個人として株式会社AB&Company（東証GRT9251）社外取締役、認定NPO法人Homedoor理事、神山まるごと高専起業家講師、フィンランド政府観光局公認サウナ・アンバサダー等も務める。



北川昌彦

フィンエア 西日本・中部地区支店長

1997年にフィンエアへ入社。以来28年間にわたり、日本市場における航空需要の創出と地域戦略の立案に携わってきた。現在は、関西・中部路線のマーケティングおよび営業戦略の統括に加え、日本全国の観光領域の統括も担い、地域に根差した戦略的アプローチを推進している。



伊藤 翔次郎

日本航空株式会社 ソリューション営業本部 関係・つながり創造部 アシスタントマネジャー/JAL Sauna Club (JALサウナ部) 事務局長/フィンランドサウナアンバサダー

食品会社勤務を経て日本航空に転職。空港グランドスタッフ、国際線レベニューマネジメント、経団連への出向、経営企画等の業務を経て現在の関係・つながり創造部へ。コロナを経て“移動の価値”を改めて見つめなおしたJALグループは、中長期で取り組む重要テーマの一つとして「移動を通じた関係・つながり創造」を掲げており、関係人口増など、何度も通いたいと思う仕組みづくりを推進中。

中学生時代に好きなF1ドライバーがフィンランド人であったことからフィンランドに興味を持ち、大学時代に行った人生初めての海外一人旅はヘルシンキ。以来、フィンランドへの憧れと尊敬を持つ日々を送る。

